

事務事業実績測定調査

事務事業名称	第3プラント施設運営業務										
測定年度	2021(R3)年度			部	環境部			課	穂谷川資源循環センター		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標		25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1988(S63)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、大気汚染防止法、騒音規制法、下水道法・枚方市下水道条例、枚方市公害防止条例、水質汚濁防止法、大阪府生活環境の保全等に関する条例、ダイオキシン類対策特別処理法等				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	家庭から生活ごみ等を排出する市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	ごみの適正処理及び安定性を確保できるよう、必要な施設保全や保守点検等を実施する必要がある。			
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	適正な分別・収集からなる適正処理を実現し、計画的かつ安定的な施設の保全及び維持管理が行われている。				
事業概要	<p>処理施設の概要 名称:穂谷川清掃工場 所在地:枚方市田口5丁目1番1号 第3プラント(焼却処理能力:200t/日、昭和63年3月竣工)、排水処理施設(処理能力:402t/日、昭和56年3月竣工)、動物焼却炉(焼却処理能力:50kg/時、昭和57年3月竣工)</p> <p>第3プラント内のデータ処理設備、電気設備、非常用発電設備等各種機器の保守点検を行う。第3プラント、動物焼却炉、排水処理設備、井戸設備の定期補修工事を行う。 第3プラント、排水処理設備等(保守点検委託を行っている機器以外)の点検・修理を行う。 公害関係の分析調査及びごみ質分析を行う。</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)	第3プラントが適正に維持管理、運営されている。				インプット(活動)	第3プラントの施設保全や保守点検等を行う。			
	指標説明					指標種類	減少することが良いとされる指標				指標種類	増加することが良いとされる指標			
指標設定	指標説明					指標種類	減少することが良いとされる指標				指標種類	増加することが良いとされる指標			
	指標種類					単位					単位				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)					100以内	100以内	100以内	100以内	100	249	219	219		
	実績					97.46	98.09			100	224				
達成度					102%				90%						
分析					当初の予算内で修繕・補修工事ができている。				予定どおり定期補修工事ができた。						
ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)	市内域の一般ごみを適正に処理できている。				インプット(活動)	第3プラントにより、市内域の一般ごみを焼却する。			
	指標説明					指標種類	増加することが良いとされる指標				指標種類	減少することが良いとされる指標			
指標設定②	指標説明					指標種類	増加することが良いとされる指標				指標種類	減少することが良いとされる指標			
	指標種類					単位					単位				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)					100	100	100	100	37,417	37,041	36,665	36,290		
	実績					100	100			34,917	33,609				
達成度					100%				109%						
分析					受け入れた焼却ごみは、すべて適正に処理できている。				概ね基本計画のとおり減少している。						

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル③						動物の遺骸が適正に処理できている。				動物焼却炉により、動物の遺骸を焼却する。			
指標設定③	指標説明					受け入れに対して適正に処理できた割合【算出式:処理量/搬入量×100】				動物の遺骸焼却受入れ件数			
	指標種類	単位				単位 %				単位 件			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込)					100	100	100	100	100	2,200	2,200	2,200
	実績					100	100			100	1,818		
	達成度					100%				117%			
分析					受け入れた動物の遺骸は、全て適正に処理できている。				想定より減少した。				
ロジックモデル④						不燃残渣が適切に処理されている。				焼却灰・飛灰及び資源化した後に発生する不燃残渣を処理する。			
指標設定④	指標説明					不燃残渣の適正処理率【算出式:処分量(最終埋立)/処理量×100】				不燃残渣処理量			
	指標種類	単位				単位 %				単位 t			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込)					100	100	100	100	100	100	0	0
	実績					0	0			0	0		
	達成度					200%				200%			
分析					不燃残渣の発生がなく、処理実績がない。				不燃残渣の発生はないが設備の維持管理においては適正に行えている。				

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	9.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	117,110	82,159	69,626		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	2,238	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	119,348	82,159	69,626		
	物件費計	666,330	743,107	739,558	749,260	99%
歳出計		785,678	825,266	809,184		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	3,500	0	0	
	その他	48,165	29,556	31,523	35,535	
	歳入計	48,165	33,056	31,523	35,535	
一般財源		737,513	710,051	708,035	713,725	

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については概ね想定どおりであったが、東部清掃工場と穂谷川清掃工場のごみ処理計画を調整し計画的な炉の停止を行い発電量(売電量)の増加を見込める効率的かつ効果的な運転管理に努めた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	ごみ処理に関する公害関係法、廃棄物関係法令に定める基準を遵守し、第3プラントで一般ごみを適正に焼却処理し、発生する残渣物を適正に処理する。令和7年度まで安定稼働に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	穂谷川資源循環センター施設管理業務										
測定年度	2021(R3)年度				部	環境部			課	穂谷川資源循環センター	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4			
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標		25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2013(H25)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市庁舎管理規則				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	申請手続き及び持ち込み等で施設を利用する市民。
	サブターゲット	
	ターゲットが抱える課題	穂谷川資源循環センターを利用する市民が、安全に利用できるよう施設保全や保守点検を実施する必要がある。
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	穂谷川資源循環センターを利用する市民が、施設を安心して安全に利用できている状態。
---------------------------	--

事業概要	施設の概要 名称:穂谷川資源循環センター(焼却施設を除く) 所在地:枚方市田口5丁目1番1号 敷地面積:38,941㎡ 主な施設:管理棟(執務室及び作業員控室、昭和49年3月竣工、鉄筋コンクリート造3階建、建物面積2,382㎡)、公用車庫(昭和49年12月竣工、鉄骨造耐火構造平屋建、建物面積1,208㎡)、旧管理棟(昭和40年3月竣工、鉄骨造2階建、敷地面積232㎡、平成25年3月に改築し、同年4月から、リサイクル施設「ひらかた夢工房」として使用)等。
	穂谷川資源循環センター敷地全体の環境美化及び、管理棟の日常点検(警備・清掃・緑地帯管理等)、法定点検(火災報知器点検・受水槽高架水槽点検・空気環境測定)、敷地内の建物の点検や部分補修などを計画的に行う。 小学校の環境教育および企業等の環境研修として、施設見学の受け入れを行う。

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						穂谷川資源循環センターが適正に維持管理されている。				穂谷川資源循環センターの施設保全や保守点検等を行う。			
指標設定	指標説明					修繕料、補修工事等に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				補修工事、保守点検業務等(委託含む)の執行率			
	指標種類	単位				単位				%			
	指標数値	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
	達成度	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	分析					170%				100%			
						当初の予算内で修繕を実施した。				当初の予算内で修繕でき、法定点検に必要な項目の保守点検委託ができた。			

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	13.35
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	87,673	85,109	92,930		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)		123	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	87,897	85,232	92,930		
	物件費計	64,203	79,467	64,068	71,912	89%
	歳出計	152,100	164,699	156,998		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	152,100	79,467	64,068	71,912	

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については、概ね想定通りであったが、昭和49年に開設した管理棟においては、今後、修繕料・補修工事費が増加する傾向である。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	管理棟を含めた老朽化している穂谷川清掃工場敷地内の施設維持管理や環境美化を適切かつ効率的に行うため、穂谷川清掃工場職員の技術力を活かしていく。関係法令を遵守し、施設の保全や保守点検を適正に行う。委託業務による適正処理・管理を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	穂谷川資源循環センター運営事務										
測定年度	2021(R3)年度				部	環境部			課	穂谷川資源循環センター	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4			
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理		特性		庶務的事務			区分		庶務的内部管理事務	
事業期間	R4年度(2022年度)				年度	~		年度まで			
根拠法令等	枚方市廃棄物の減量及び適正処理の促進に関する条例、労働安全衛生法、地方自治法、枚方市事務決裁規定、公害健康被害の補償等に関する法律等										
関係補助金名称											サンセット
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット		工場職員								
	サブターゲット										
	ターゲットが抱える課題		課の運営を円滑に図る必要がある。								
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	課の運営を円滑に執行する。										
事業概要	穂谷川資源循環センターの運営事務を効率的に執行し、ごみ処理経費の諸経費を適正に運営する。①市議会・職員団体等の調整及び交渉②行政評価及び事業計画の作成③庁内外への照会・回答④庶務事務等、を適正かつ効率的に執行する。										

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)						
指標設定	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)						
	指標説明																
	指標種類	単位					単位					単位					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)																
	実績																
達成度																	
分析																	

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	5.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	—	37,956		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	—	0		
	特別職非常勤	—	—	0		
	附属機関委員	—	—	0		
	人件費計	—	—	37,956		
	物件費計	—	—	6,721	7,917	87%
	歳出計	—	—	44,677		
歳入	国庫支出金	—	—	0	0	
	府支出金	—	—	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	—	0	0	
	市債	—	—	0	0	
	その他	—	—	0	0	
		歳入計	—	—	0	0
	一般財源	—	—	6,721	7,917	

5. 総括的分析

総括的分析 所管事務及び庶務事務を適正かつ効率的に執行した。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	所管事務及び庶務事務を適正かつ効率的に執行する。